

青山学院大学

さかもと ひろし
阪本 浩

青山学院大学 学長



三木義一前学長の任期満了に伴い、2019年12月阪本浩文学部教授が新学長に就任した。

阪本新学長は1954年仙

台市生まれ。1978年青山学院大学文学部史学科卒業後、東北大学大学院で学び、1982年同大学助手就任。1985年青山学院大学専任講師。2016年から文学部長、2017年から学務担当副学長などを歴任。専門分野は古代ローマ史。西洋史研究会、日本西洋古典学会、キリスト教史学会に所属し、近年の訳書に、『ゴルスワーシー著『アントニウスとクレオパトラ(上・下)』(白水社2016)、同『古代ローマ

名将列伝』(白水社2019)、アーミティジ著(共訳)『内戦』の世界史』(岩波書店2019)がある。

就任時に掲げた目標は、「地の塩、世の光」をスクールモットーとする学院の原点を再確認することだった。変革の時代だからこそ「建学の精神」の再確認が必要。女子教育の伝統を継承するジェンダー研究所と学院史研究所を新設して学院150年史の編纂事業を進め、さらには資料館開設を目指す。その一方で、入試改革と教養教育のなお一層の充実によって新しい時代に対応しようとしている。

松山大学

あらい ひでお
新井 英夫

学校法人松山大学 理事長
松山大学 学長



溝上達也前理事長・学長の任期満了に伴い、1月1日付で新井英夫法学部教授が学校法人松山大学理事長・松山大学学長に就任した。

新井新理事長・学長は1977年東京都生まれ。2007年日本大学大学院文学研究科英文学専攻博士後期課程単位取得満期退学。2017年から松山大学法学部教授となり、現在に至っている。同大学においては学長補佐、学校法人松山大学においては評議員、常務理事等、要職を歴任している。専門分野は英文学で、著書には『越境する英米文学―人種階級・家族―』(分担執筆)、

『「女性」で読む英米小説―風習喜劇からモダン・ゴシックまで―』(分担執筆)、『イギリス文学の悦び』(分担執筆)等がある。

98年の歴史を持つ松山大学は2023年に100周年を迎える。新井新理事長・学長は、予測困難な時代において、次世代を担う学生たちに教職員が何を伝えていくべきか、大卒としてどのような研究を展開していくべきかを再考し、地域社会を新たな価値創造の場へと導く人材を育成し、地域社会の持続可能な発展を支える研究拠点となる総合大学をつくらせていきたいとの抱負を掲げている。

井出吉信(いでよしのおぶ)

学校法人東京歯科大学理事長、東京歯科大学学長。'76東京歯科大学大学院歯学研究科修了。歯学博士。専門分野は解剖学。主著『摂食・嚥下のメカニズム』。

加藤映子(かとうえいこ)

大阪女学院大学・短期大学学長。'03ハーバード大学教育大学院博士課程修了。P.O.U.取得。主著『ハーバードで学んだ最高の読み聞かせ』(かんき出版)。

原田善教(はらだよしのり)

学校法人東北学院理事長。九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。東北学院大学経済学部長、副学長を経て'20より現職。

源由理子(みなもとゆりこ)

明治大学副学長(社会連携担当)。明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授。東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程修了。博士(学術)。専門は評価論。

村上清(むらかみきよし)

陸前高田市参与、東北大学特任教授、岩手大学・立教大学客員教授。在米日本大使館、JPMオルガン、UNHCR人事研修部

長、ゴールドマンサックス、ドイツ銀行などを
経て現職。

桶田敦(おけたあつし)

大妻女子大学文学部教授。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程単位取得退学。TBSテレビ報道局解説委員、テレビユー福島報道制作局長を経て'09より現職。

音好宏(おとよしひろ)

上智大学文学部教授。'90上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門はメディア論。主著『放送メディアの現代的展開』ほか。

瀧口深雪(たきぐちみゆき)

東京経済大学総合企画部広報課長。

三木省吾(みきしやうご)

早稲田大学総長室副室長(社会連携担当)・校友課長・校友会事務局長。'93早稲田大学教育学部卒業。早稲田大学入学センター課長・総長室募金担当課長等を経て、'19より現職。

永松正博(ながまつまさひろ)

九州工業大学名誉教授、一般社団法人明専会常務理事。'77東北大学大学院工学研

究科博士課程修了、工学博士。'10九州工業
大学生命体工学研究科教授定年退職。

宮田慎一(みやたしんいち)

関西大学教育後援会副幹事長、学校法人
関西大学総務局付次長。'93関西大学文学
部卒。

深尾昌峰(ふかおまさたか)

龍谷大学政策学部教授、学長補佐、龍谷
エクステンションセンター長。滋賀大学大
院修士課程修了。教育学修士。主著『地域
公共政策をになう人材育成』(共著)ほか。

岡田雄介(おかたゆうすけ)

龍谷大学入試部次長。

杉山聖子(すぎやましようこ)

龍谷大学国際学部教務課長。

西坂正雄(にしざかまさお)

龍谷大学龍谷エクステンションセンター課長。

安藤由紀美(あんどうゆきみ)

学校法人東京女子大学事務局長。東京女
子大学文理学部卒業。総務課長、大学運
営部長、教育研究支援部長を経て、'2012月
より現職。

鈴木健夫(すずみたけお)

学校法人芝浦工業大学理事長。芝浦工業大学工学部建築学科卒業。卒業後は企業経営の傍ら校友会長をはじめ大学事業法人代表、学校法人理事を歴任。'20月より現職。

東海林克彦(しょうじかつひこ)

東洋大学副学長(教育担当)・教務部長・国際観光学部教授。'81新潟大学農学部卒業、'83東京大学大学院農学系研究科修士課程修了。博士(農学)。環境省を経て'07より東洋大学。

福島達也(ふくしまたつや)

日本大学本学部学生部学生課課長補佐。'02日本大学文理学部卒業後、学校法人日本大学入職。'18より現職。

荒川豊(あらかわゆたか)

九州大学大学院システム情報科学研究科教授。'06慶應義塾大学大学院理工学研究科修了。博士(工学)。奈良先端科学技術大学院大学を経て'19より現職。I・O・Tに関する研究に従事。

宮本伸之(みやもと のぶゆき)

中央大学情報環境整備センター事務部多

摩ITセンター事務課課長。'94中央大学商学部卒業後、同大学入職。在職中の'15放送大学院修士課程情報学プログラム修了。'20より現職。

野口義文(のぐちよしふみ)

立命館大学研究部事務部長・産学官連携戦略本部副本部長。文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、理化学研究所事務アドバイザリー・カウンスル委員などを務める。

国松麻季(くにまつまき)

中央大学国際経営学部准教授・学長補佐。'05ジョージタウン大学ローセンター修了(L.L.M.)。三菱UFJリサーチ&コンサルティング等を経て'19より現職。

高橋正弘(たかはしまさひろ)

大正大学社会共生学部長、公共政策学科教授。'05名古屋大学大学院環境学研究科博士課程満了。博士(環境学)。'204月より現職。専門は環境教育論。

市瀬浩志(いちのせこうじ)

武蔵野大学薬学部教授・薬学研究所所長・薬学部附属薬用植物園園長。'91東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了。薬学博士。専門は天然物化学・分子遺伝学。

小林洋一(こばやしやういち)

西南学院大学名誉教授。'86サザン・パプテスト神学校大学院博士課程聖書学専攻修了(P.H.D.)。旧約聖書学専攻。編著『ラビの聖書解釈 ユダヤ教とキリスト教の対話』など。

小川博(おがわひろし)

東京農業大学農学部長・教授。東京農業大学大学院博士前期課程修了。博士(畜産学)。専門は野生動物学。

杉野公彦(すぎのまさひこ)

株式会社ラウンドワン代表取締役社長。'61大阪府生まれ。桃山学院大学在学中の'80に杉野興産を設立し、'93にラウンドワン設立。'10にはアメリカ・ロサンゼルスにも出店。

脇浜紀子(わきはまのりこ)

京都産業大学現代社会学部教授。神戸大学法学部卒。'90読売テレビ入社。'10大阪大学大学院国際公共政策博士号取得。研究分野は地域メディアと地域情報。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

会長の動き

● 1月12日(火)

第8回理事会に出席(ハイブリッド開催)

● 2月2日(火)

第8回常務理事会に出席(ハイブリッド開催)

● 2月16日(火)

第9回常務理事会、第9回理事会に出席(ハイブリッド開催)

令和2年度第3次補正予算及び令和3年度私立大学関係政府予算案等閣議決定

令和2年度第3次補正予算(令和2年12月15日)及び令和3年度私立大学関係予算並びに税制改正等(令和2年12月20日)が閣議決定されました。

令和3年度予算案は、私立大学等経常費補助2975億円(2億円減)となりましたが、事項要求であったコロナ禍での困窮学生に対する「授業料減免」が70億円別枠で措置されることとなりました。新規予算では、「特別補助」において「数理・データサイエンス・AI教育」7億円、「新型コロナウイルス感染症に対応した教育研究等の支援」11億円が計上されました。

▼資料は、下記の私大連Webサイトをご覧ください。

令和2年度

「私大連理工系学部長会議」開催報告

令和2年12月11日(金)、オンラインにて開催。24大学32名の参加をいただきました。理工系分野に関わる重要な政策課題や、各大学に共通する課題等を踏まえ、今年度は「理工系分野におけるオンライン授業の現状と課題」をテーマとして開催しました。グループセッションでは、各参加者の学部・研究科におけるオンライン授業の現状や課題について情報共有を行い、全体セッションでは、各グループで共有した内容の報告、参加者全員での質疑応答や意見交換を行いました。

「令和2年度オンラインFD推進ワークショップ」開催報告

令和2年12月13日(日)、オンラインにて開催。30大学37人の参加をいただきました。新型コロナウイルス感染症への対応開始から約1年を迎える今、来年度以降の大学教育のあり方について議論を深めることを目的として、グループ討議および全体討議による情報共有・意見交換を行いました。

「財務・人事担当理事者会議
オンラインセミナー」開催報告

令和3年1月8日(金)、オンラインにて開催。66法人111名の参加をいただきました。令和2年4月より大企業を対象に施行された「同一労働同一賃金」ルールについて、大学としてどのように対応していくべきか、講演およびディスカッションによる意見交換を行いました。

令和2年度「国の補助金等に関する
説明会(第2回)」オンデマンド配信

文部科学省の予算編成にかかる加盟校への情報提供と理解の深化を目的として、毎年「国の補助金等に関する説明会」を実施しています。令和2年度第2回説明会は、第1回同様、オンデマンド配信により、令和3年1月26日(火)～2月26日(金)まで実施しました。

私大連Webサイトにて
各種活動に関する情報を公開

<https://www.shidairen.or.jp/>



第392号(2020.5)



[表紙の種] キンミズヒキ

だいがくのたから 成城大学

大学点描 東京経済大学

巻頭言 創立120周年を迎えて

岡本英男

視点 良医育成に徹底して取り組む医科大学

野口光一

特集「大学間による学生交流(国内留学制度)の現状と課題」

教育改革の柱としての派遣学生制度—全国初の単位互換を開始した沖縄大学—

仲地博

立地地域や設置形態の違いを超えた連携—山形⇄神奈川複眼的視点を持つ人材育成を目指して—

福元摩湖

うどん県住みます学生プロジェクト—地方(香川大学)と東京圏の大学(芝浦工業大学、津田塾大学、東京農業大学)による高度人材育成事業—

八重樫理人

「国内留学」の課題と今後—学修成果の可視化の観点から—

猪股星慧礼／甲斐田昌太郎

派遣人数不均衡の解消策—早稲田大学と同志社大学の学生交流の事例から—

大島佳代子

ずいそう 法人合併 林正夫

小特集「大学専用アプリによる情報の発信」

学生支援部署におけるアプリ活用の取組

中尾匠吾

学生が創る大学公認アプリ「KSU」

田中康一郎

卒業生との「つながり」を再び—キラークンテンツによる寄附拡大の可能性—

藤元健史

目から鱗が落ちる活用法—アサーティブアプリの可能性から—

志村知美

寄稿

新型コロナウイルス感染症とそのリスク評価

岡田晴恵

寄稿

私立大学のガバナンス向上に有効な内部通報制度—内部通報制度に関する認証制度の活用を考える—

公益社団法人 商事法務研究会
内部通報制度認証事務局

私の授業実践—教育現場の最前線から—

看護師基礎教育における「シミュレーション教育」の取り組み

納谷和誠

明日への試み 西南学院大学外国語学部

新たな伝統を築くエネルギー 伊藤彰浩

加盟校の幸福度ランキングアップ《セラピー編》

心理学科でのアニマルセラピーの試み

渡邊力生

死と悲嘆から生きる意味を捉え返す上智大

島蘭進

学グリーフケア研究所

通信教育課程 児童学科でアートセラピーを導入する意味

小野京子

九州産業大学

新会員代表者紹介

同志社大学／明治大学／芝浦工業大学

新学長紹介

大東文化大学／フェリス女学院大学／宮城学院女子大学／名古屋学院大学／追手門学院大学／昭和女子大学



[表紙の種] ホオズキ

だいがくのたから 常磐大学

大学点描 フェリス女学院大学

巻頭言 創立150周年を迎えて 荒井真

視点 同志社女子大学に息づく「改良」の精神 飯田毅

座談会

大学イメージの定着化によるブランディング

上條憲二／日笠完治／小林浩／(司会) 兼高聖雄

特集「コロナ禍における大学の取り組み」

コロナ禍の心構え―新生活様式を前向きに考える― 出口治明

大学におけるオンライン授業の現状と課題
― 感染防止のための臨時対応から新しい
大学の様式へ― 福原紀彦

教育開発支援センターの遠隔授業への取
組み 関口理久子

新たに創設した奨学金による家計急変学生
への支援 富田宏治

コロナ禍における学生の主体性と地域組織を
活用した実践―人のつながりと食を通じ

た学生支援活動― 大西良／川崎孝明

転換期の教育交流と国際教育の将来像―コロ
ナ禍における教育交流のパラダイムシフト―
芦沢真五

コロナ禍の国際教育の様相と今後 内田達也

大学入学者選抜の着実な実施に向けて
多久和英樹

コロナ禍でのオープンキャンパス学生確保か、
安全保持か 石川さゆり

支援を止めない―これまでとこれから―
神山正之

コロナ禍における就職支援の展開―急ごしら
えで準備した各種支援内容の紹介―
松本光眞

新型コロナウイルス感染症対策における意思
決定プロセスについて―早稲田大学の場合―
友金孝夫

全授業のオンライン実施―方針決定と運用―
青木清

コロナと大学―大学教育の現場から―
山田健太

ずいそう 同心協力 柳谷孝

寄稿 大学入試改革における主体性評価の
課題 圓月勝博

私の授業実践―教育現場の最前線から―

スポーツにおける教育・研究と実践との複合
型授業の構築―なぜ私はこの形で授業を
進めるのか― 吉本隆哉

明日への試み 中京大学国際学部

中部圏から真の国際人材を輩出する
佐道明広

加盟校の幸福度ランキングアップ《心をつ
にする歌編》

「惜別の歌」人と時代と 奥平晋

校歌に込めた大学アイデンティティ―
瀬戸口龍一

学生主体で創る心を結ぶ学園の歌
大久保英男

クローズアップ・インタビュー

ミスノ株式会社 相談役会長

水野正人さんに聞く (聞き手) 外川智恵



新会員代表者紹介

学習院大学／皇學館大学／国際基督教
大学／甲南大学／明治学院大学／南山
大学／日本女子大学／東北公益文科大
学／東洋大学／山梨英和大学

新学長紹介

獨協大学／甲南大学／聖路加国際大学

第395号(2020.11)



[表紙の種] モミジバフウとハンノキ

だいがくのたから 東邦大学

大学点描 豊田工業大学

巻頭言 新キャンパスの完成を機に

保立和夫

視点 創立100周年、その先へーポスト

コロナを見据えてー

内藤二郎

座談会 小特集連動企画

コロナ禍における学生の心のケア

杉原保史／西浦太郎／田上正範／早川

和宏／(司会)音好宏

特集 「大学ボランティアセンターの役割と

これから」

「学生のボラセン」を目指してー明治学院大学
ボランティアセンターの20年ー 猪瀬浩平
「ピア」精神に基づいたボランティア 矢野泉
人権意識と自治意識を持つ市民を育てるー
大学ボランティアセンターの基本的視点と
はー 筒井のり子

サービスマーケティングとボランティア活動ー桜
美林大学サービスマーケティングセンターの機
能と課題ー 牧田東一

震災から10年とこれからの展望 菱河亮平
手さぐりの中から一歩でも前へー「わざわざい」
の下でのボランティア支援ー 光田剛

ずいそう 大学の存在価値を再吟味しよう

安田隆二

小特集 座談会連動企画「コロナ禍における
学生の心のケア」

学生相談の新しい様式へー新型コロナウイル
ス感染症の影響下における日本学生相談
学会の取り組みー 日本学生相談学会
いま大学学生相談室にできること 安藤寿康
コロナ禍における学生相談の模索ー学内連
携のもとでー 井口知子

寄稿

大学生が狙われる危険のこれからーリスクリ
テラシー向上を目指す活動の展開ー

元田謙太郎／村上大和／高森裕子

私の授業実践ー教育現場の最前線からー

歴史の授業でウィキペディアを使ってみた(結
局は、歴史とは何かを本気で教えていた)

吉江弘和

明日への試み 共立女子大学ビジネス学部
AI時代に生き残る力を身に付ける

植田和男

加盟校の幸福度ランキングアップ《ブック
カバー編》

大学ブランディングと地域連携ー公式マス
コットキャラクターを活用した事例ー

西村美佳

ブックカバー作成に見る広報隊活動

中山恵子

学生によるブックカバーデザイン企画ー甲南
大学図書館の取り組みー 笹倉香奈

クローズアップインタビュー

プロサッカー指導者

高倉麻子さんに聞く

(聞き手)川島葵



新会員代表者紹介

日本大学

新学長紹介

関西大学



【表紙の種】ヤマノイモ

だいがくのたから 東洋学園大学

大学点描 九州産業大学

巻頭言 創立100周年を見据えて 榊泰輔

年頭所感 ポストコロナ時代における私立大

学の重要性

長谷山彰

視点 生涯学び続ける力を付ける教育を目指して 真銅正宏

座談会

「教養教育」とは何かを考える

梅崎透／小林傳司／金山勉／長谷川知子／(司会)長野香

特集【学び合うキャンパス最前線】

場が学びごと働き方を変えるー梅光学院

大学の新校舎での試みー

樋口紀子

アクティブ・ラーニングの全学展開に向けた施

設・設備の整備ー創造性・社会性を育む

キャンパスの教育装置化ー

川口敏弘

スチューデント・コモンズで受ける遠隔授業

金栄緑

価値ある学びの場を提供し続けるために

井上誠

社会の変化に即応できる人材に不可欠な4つ

の力を育成するための空間ー学生が互いに

刺激し合える「TechnoCube(19号館)ー

INIADという挑戦 黒田輝／大山龍一郎

坂村健

ずいそう 最初の卒業証書ー京都精華大学

の友愛の精神ー 石田涼

小特集【コロナ禍における入試広報】

オンラインオープンキャンパスの可能性

小林順

コロナ禍と入試広報ーデジタル・対面・学生

参加ー 村上隆

その時、入試広報の現場ではー緊急事態宣

言からポストコロナへー 岡田隆

コロナ禍における「入試業務」のオンライン化

岡田遼介

私の授業実践ー教育現場の最前線からー

演劇の実践教育ーオンライン演劇の製作ー

須川渡

明日への試み 龍谷大学先端理工学部

Society 5.0時代における新たな理工系教育

課程 松木平淳太

加盟校の幸福度ランキングアップ《並木道編》

戦争と桜並木ー和解の贈り物ー 富岡徹郎

御井学舎の櫛並木道 大矢野栄次

ケヤキ並木と持続可能な未来への活動

池上敦子

クローズアップインタビュー

株式会社高橋書店 書籍事業部 編集部

山下利奈さんに聞く (聞き手)川島葵



新会員代表者紹介

京都産業大学／和光大学

第397号(2021.3)



[表紙の種] プラム

だいがくのたから 福岡女学院看護大学

大学点描 東京歯科大学

巻頭言 創立130周年を迎えて 井出吉信

視点 大学とは何をする場所なのか? 加藤映子

座談会

東日本大震災から10年を振り返る

— 地域再生と私立大学 —

原田善教 / 源由理子 / 村上清 / 桶田敦 / (司会) 音好宏

特集「繋がる」を考える—帰属意識を高める
「インナーコミュニケーション」

創立120周年記念事業で繋がる縁が大
学の未来を創る 瀧口深雪

「第二の青春」—ほとばしる母校愛— 早稲田

大学校友会の繋がる取り組み紹介—

三木省吾

技術に堪能なる土君子を育てる—九州工業

大学卒業生の強い母校愛と同窓の絆—

永松正博

教育後援会 Presents コロナ禍を克服する

「繋がる」事業—「大学と家庭の心のかけ

橋」の実践— 宮田慎一

「食支援」が紡ぎ出すコミュニケーション—大学

構成員の意識変化と社会との連携創出—

深尾昌峰 / 岡田雄介 /

杉山聖子 / 西坂正雄

大学と「つながる」・人と「つながる」

—TWCU S.Sプロジェクト 学生の活躍で

活気あるキャンパスを目指す— 安藤由紀美

ずいそう 非科学的教育の提唱 鈴見健夫

小特集「大学におけるICT活用の可能性」

大学における学生の行動マネジメント

東海林克彦

コロナ禍の学修環境の整備—日本大学健康

観察システムの運用と課題— 福島達也

情報技術で3密回避を支援—時差通勤・通

学を促すためのバス停混雑度情報可視化

システムの開発— 荒川豊

大学窓口限定されないサービス展開の可能

性—中央大学 証明書発行サービス— 宮本伸之

寄稿 新型コロナウイルス感染症に関わる研

究から考える未来—社会共生価値を創造

する次世代研究大学の表現に向けて—

野口義文

私の授業実践—教育現場の最前線から—

グローバルビジネスの現場から学ぶ演習

—学生の自主的な運営からの効果—

国松麻季

明日への試み 大正大学社会共生学部

社会への共生理念の浸透を求めて 高橋正弘

加盟校の幸福度ランキングアップ《植物園編》

「慈悲のこころ」を醸成するお宝の場所づく

りに 市瀬浩志

聖書で出会った植物とキャンパスで出会う

—西南学院大学聖書植物園— 小林洋一

自然の移ろいを感じ、自然を学ぶ 小川博

クローズアップインタビュー

株式会社ラウンドワン 代表取締役社長

杉野公彦さんに聞く(聞き手)脇浜紀子



新会員代表者紹介

青山学院大学 / 松山大学



University Current Review

大学時報

Webサイトにて、
全文無料公開中

※第301号
(2005年3月発行)から

詳細は

<https://daigakujihou.shidaren.or.jp/>



奇数月 20日(年6回)刊行

第392号

(2020年5月発行)



【特集】

大学間による
学生交流(国内留学制度)の
現状と課題

第393-394号

(2020年9月発行)



【特集】

コロナ禍における
大学の取り組み

【座談会】大学イメージの定着化によるブランディング

【インタビュー】水野 正人氏(ミズノ(株)相談役会長)

第395号

(2020年11月発行)



【特集】

大学ボランティアセンターの
役割とこれから

【座談会・小特集運動企画】コロナ禍における学生の心のケア

【インタビュー】高倉 麻子氏(プロサッカー指導者)

第396号

(2021年1月発行)



【特集】

学び合うキャンパス
最前線

【座談会】「教養教育」とは何かを考える

【インタビュー】山下 利奈氏(株式会社高橋書店 書籍事業部 編集部)

座談会 「オンライン授業からの気付き—語学教育—」

特集 「変わる大学入試」

小特集 「学生の授業評価—活用と実践—」

だいがくのたから

筑紫女学園大学

大学点描

亜細亜大学

クローズアップ・インタビュー

倉橋香衣さん(車いすラグビー選手)

編集後記

◆新型コロナウイルス感染症拡大によって、ソーシャル・ディスタンスの概念が私たちの意識やライフスタイルを一変させた。大学は対面授業が制限され、学生同士や教職員と共有する空間や機会が多く失われた。コロナ禍での不可避的な距離感から、改めて見えてきたのは、私たちにとってリアルな繋がりがいかに大切かということである。

他方で、現代は他者と繋がりたいという思いがあればオンラインやSNS等を通じて、国境や時間を超越してコミュニケーションができる新たな時代のフェーズに入っている。

特集では「繋がる」をテーマに、大学構成員の愛校心や帰属意識醸成、学生と卒業生との交流、大学と保護者からの支援や学生間交流などインナーコミュニケーションの在り方も時代と共に多様化し、進化していることをお伝えできたかと思う。

大学は教育研究を通じ、人を育む学び舎であると同時に私たちの交流を生み出し、社会を繋ぐ普遍的な存在である。個々の存在を確かめ合いながら、知見を持ってニューノーマル時代の「絆」を繋ぐことが

重要である。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・明治大学経営企画部広報課長 江津英昭)

◆ICTを活用した授業実践については学会発表やセミナーなどが行われており、どのように教育の質保証を行っていくかという情報が共有され始めている。その中でオンライン教育のメリットやデメリットなども明らかになってきているが、授業以外の場でICTが活用されている事例を目にする機会は少ないのではないだろうか。

小特集では各大学がICTを活用し、さまざまな面で対策に尽力していることがうかがえる。まだ対応方法の「正解」は見えないが、各大学の対応事例を広く共有することで、きつと対応の最適解が見えてくるだろう。この小特集が各大学の検討材料の一部となり、学生の安心、安全な学びの提供につながることを期待している。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・法政大学多摩事務課主任 須藤智徳)

◆世界的なコロナ禍にある今、東日

本大震災から10年の時を迎えようとしている。あの時も今も、人生において予想だにしない出来事に遭遇しているが、歴史学を学んできた私には、いつか歴史年表に記録される地点に立っていることを感じている。

本号のクローズアップ・インタビューでは、杉野公彦氏の「得意分野で、自社ならではの役割を果たす」という言葉が印象に残った。起業を考える学生へのメッセージと共に、座談会のテーマでもあった、地域と共にある私立大学について考えるヒントが詰まっている。

座談会では、「常に問いと対峙し、問いを発信し続ける」という東北学院原田理事長の言葉が心に刻まれた。歴史の中で変わることのない、大学の存在と決意を表す言葉ではないだろうか。この10年を現在進行形で振り返る座談会は、歴史がそれを証明してきたように、眼前にある課題はいつか必ず乗り越えられることを改めて感じる機会となった。(日本私立大学連盟事務局 加賀崎 奈美)

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (125大学 令和3年3月20日現在)

愛知大学	金沢星稜大学	南山大学	園田学園女子大学
亜細亜大学	関西大学	日本大学	大正大学
青山学院大学	関西学院大学	日本女子大学	拓殖大学
跡見学園女子大学	関東学園大学	ノートルダム清心女子大学	天理大学
梅花女子大学	関東学院大学	大阪学院大学	東邦大学
文教大学	慶應義塾大学	大阪医科大学}	東北学院大学
筑紫女学園大学	恵泉女学園大学	大阪薬科大学}	東北公益文科大学
中央大学	敬和学園大学	大阪女学院大学	東海大学
中央大学	神戸女学院大学	大谷大学	常磐大学
大東文化大学	神戸海星女子学院大学	追手門学院大学	東京医療保健大学
獨協大学}	皇學館大学	立教大学	東京女子大学
獨協医科大学}	國學院大学	立正大学	東京女子医科大学
姫路獨協大学}	国際武道大学	立命館大学}	東京経済大学
同志社大学}	国際基督教大学	立命館アジア太平洋大学}	東京農業大学}
同志社女子大学}	駒澤大学	龍谷大学	東京情報大学}
フェリス学院大学	甲南大学	流通科学大学	東京歯科大学
福岡大学	久留米大学	流通経済大学	東洋大学
福岡女学院大学}	共立女子大学	西武文理大学	東洋英和女学院大学
福岡女学院看護大学}	京都産業大学	聖学院大学	東洋学園大学
学習院大学}	京都精華大学	成城大学	豊田工業大学
学習院女子大学}	京都橘大学	聖カタリナ大学	津田塾大学
白鷺大学	九州産業大学	成蹊大学	和光大学
阪南大学	松山大学	西南学院大学	早稲田大学
広島女学院大学	松山東雲女子大学	聖路加国際大学	山梨英和大学
広島修道大学	明治大学	清泉女子大学	四日市大学}
法政大学	明治学院大学	聖心女子大学	四日市看護医療大学}
兵庫医科大学}	宮城学院女子大学	専修大学}	
兵庫医療大学}	桃山学院大学}	石巻専修大学}	
実践女子大学	桃山学院教育大学}	芝浦工業大学	
上智大学	武蔵大学	白百合女子大学}	
城西大学}	武蔵野大学	仙台白百合女子大学}	
城西国際大学}	武蔵野美術大学	昭和女子大学	
順天堂大学	名古屋学院大学	創価大学	

大学時報

University Current Review

2021/3月号

第69巻397号(通巻410号)

令和3年3月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 植木朝子(同志社大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館
電話 03-3262-4362 FAX 03-3262-4363
<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル3階
〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9
KEC銀座ビル9階

松田美佐(中央大学文学部教授)
小島隆久(同志社女子大学広報部広報室長)
須藤智徳(法政大学多摩事務課主任)
中山映(上智大学総務局SGU事業推進室長)
依藤康正(関西大学総合企画室広報課長)
永野誠(関西学院大学高大接続センター入試課長)
田上雅徳(慶應義塾大学法学部教授)
江津英昭(明治大学経営企画部広報課長)
兼高聖雄(日本大学芸術学部教授)
長野香(立教学院広報室長)
青柳祐(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
長野留三子(大正大教務部教務課長)
鈴木宏隆(早稲田大学広報室長)
齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
権藤和代(日本私立大学連盟事務局)

